

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号 104-167	学校 小学校	教科 国語科	種目 書写	学年 第1学年
発行者の番号・略称 17 教出	教科書の記号・番号 書写 107	教科書名 しょうがく しょしゃ 一ねん		

1. 編修の基本方針



学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、
社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、
私たちはこの教科書をつくりました。



課題解決に向けて

「考える力」「書いて伝え合う力」 を育みます。

文字を整えて書く原理・原則を理解し、
自分のめあてと向き合って書く過程をとおして、
子どもたちは「学び方」を身につけます。
よりよく伝えるための書き表し方を考え、
工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。
本書は教育基本法に示された目標の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、
生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。



特色 1

「書く力」が身につく —すべての学びを支える—

よい姿勢と持ち方、運筆のしかたを身につけると、長い時間書いていても疲れません。よい学習習慣が身につくことで、各教科の学びを支えます。

特色 2

「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

文字を書く原理・原則を見つける力が、他の課題に出会ったときに、解決法を見つける力になります。
自ら見つけた「わかった！」が学ぶ意欲につながります。

特色 3

「書き方のコツ」 「伝え合う楽しさ」を知る —日常生活で使いたくなる—

子どもの日常における「書く場面」を徹底的に取材し教材化しました。
「書き方のコツ」を使ってみたい意欲、伝え合う楽しさを実感した体験が、生涯にわたり「書きたい子ども」を育てます。

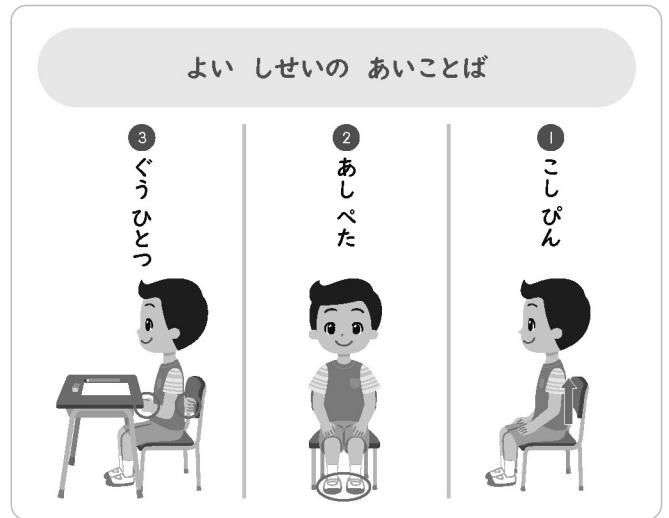
体幹を整える「よいしせいのあいことば」



▼ p.5

よい姿勢を保つには、腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。
姿勢や持ち方が正しいと、疲れにくく、「学びが持続」します。

合い言葉を唱えることで、よい姿勢を習慣化できます。



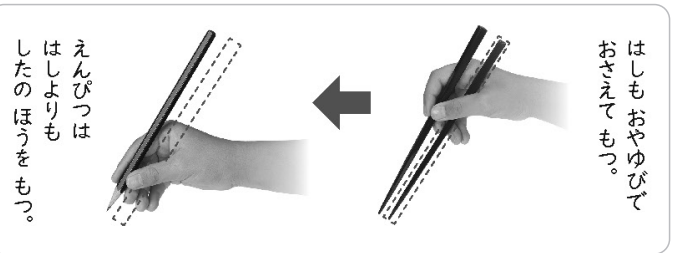
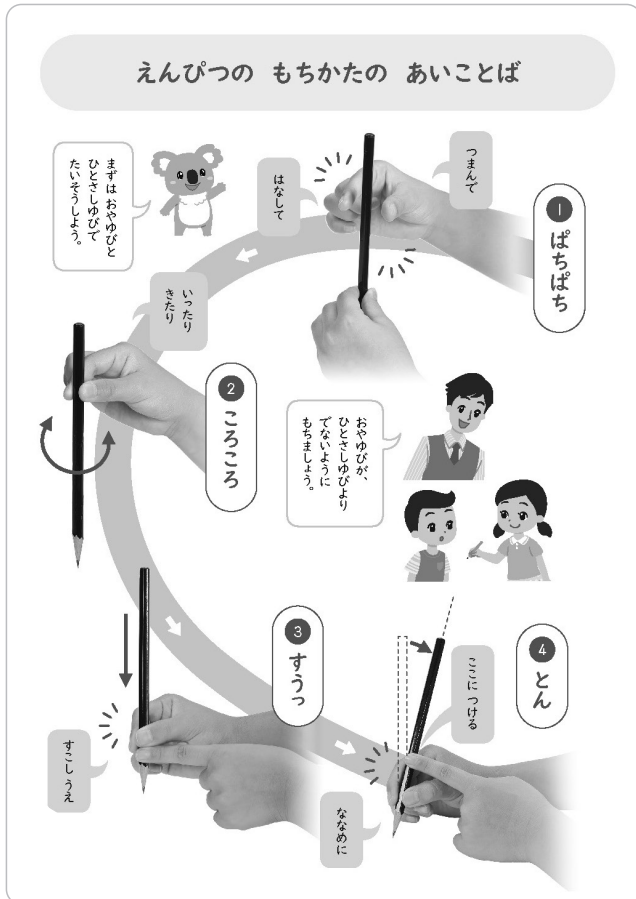
楽しみながら、よい持ち方が身につく



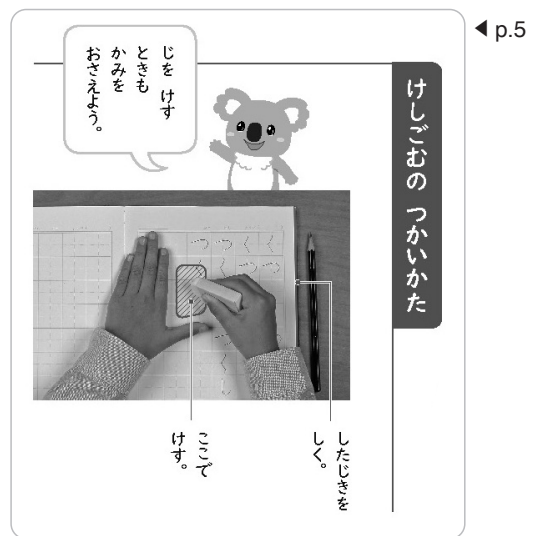
▼ p.6

「ぱちぱち」「ころころ」とウォーミングアップを行うことで、余分な力を入れずに親指と人さし指でつまめるようになります。

▼ p.7



鉛筆の持ち方を「はしの持ち方」と比べることで、共通点と相違点が理解できます。



◀ p.5

消しゴムできれいに消すこつがわかると、学習の効率化につながります。

書き方の原理・原則を理解 ⇨ 他の文字で応用

筆順のきまりを、わかりやすい図版で示したあとに、同じ原則で書ける文字を示して定着を図ります。

原理・原則 ▼ p.34-35

かきじゆんのきまり

① 上から下へ

② 左から右へ

③ よこからたてへ

正しいかきじゆんでかこう。

①から③のかきじゆんのきまりをおぼえておく、べんりです。

かきじゆんのきまりに気をつけてかこう。

正しいかきじゆんでかくと

- よいかたちにかける。
- かきやすい。
- 文字をおぼえやすい。

かきじゆんはたいせつなんだね。

正しい筆順が大切な理由を、1年生の発達段階に合わせて説明しています。

他の文字で応用

文字との出会いを大切に

書いて伝え合う楽しさを実感できる活動を、カリキュラム・マネジメントに配慮して、設定しています。

書いてみよう

みつけてみよう

文字探しの活動は、生活科の学校探検と関連させています。

名前を書いて友達と伝え合う活動は、国語科の学習として一体的に扱えるよう例示しています。

◀ p.①-1

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
きょうかしよのつかいかた	●「きょうかしよのつかいかた」を提示することで、児童が意欲的・主体的に学習する能力を高められるように配慮しました。(第2号)	p.2-3
1 はじめのがくしゅう ① じをかくしせい ② えんぴつのもちかた ③ たのしくかこう しよしゃのたいそう	●運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。(第1号) ●運筆の動作を体感することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。(第1号)	p.4-9 p.45-46
2 ひらがながくしゅう 3 かたかなのがくしゅう 4 かん字の学しゅう	●基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。(第1号) ●確かな書く力を身につけることにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。(第3号) ●めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号) ●教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。(第3号) ●教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮しました。(第4号) ●書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。(第1号、5号)	全般 全般 全般 p.12-13 など p.16-17、 36-37 など
5 かきぞめ しりたい文字のせかい	●書き初めの言葉として、『お正月』の教材とお正月にまつわる文章を書くことで、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。(第5号) ●文字の成り立ちを扱うことで、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。(第5号)	p.36-37 p.42
【レッツ・トライ】 よこがきのかきかた 【レッツ・トライ】 かいてみよう！ 【かいてつたえあおう】 ありがとうカードをかこう	●学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。(第2号) ●学習の成果が認め合えるような教材を設けました。(第3号)	p.21、24-25 p.40-41

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

子どもの文字環境や文字文化を豊かにする

- 「しりたい文字のせかい」では、漢字の字源を扱うことで、文字に対する興味・関心を高めます。(p.42)

全ての児童にとっての学びやすさに配慮

● カラーユニバーサルデザイン

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。(p.13など全般)

● ユニバーサルデザインフォント

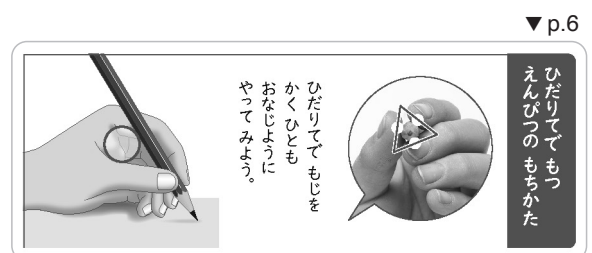
書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)

● 人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)

● 左利きの児童への配慮

左利きで書く場合の持ち方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.6)

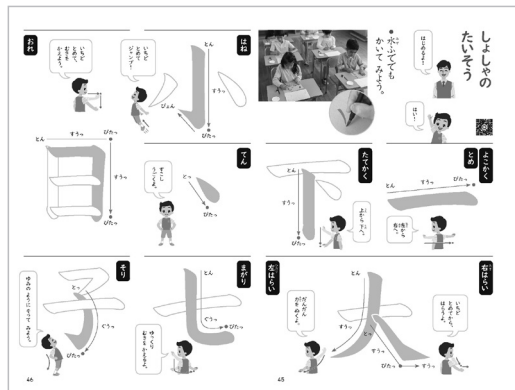


● 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮



- 書き誤りやすい文字を重点的に扱い、確実な定着を図れるよう配慮されています。(p.16-17、p.28-29)
- 基本点画の書き方を確認できるページが、二次元コードを通じて、動画と連動しています。点画の書き方を視覚と音声でも理解でき、支援が必要な児童に大変有効です。(p.45-46)

p.45-46 ▶



ハイブリッドな書写学習



● つながる、広がる、「まなびリンク」

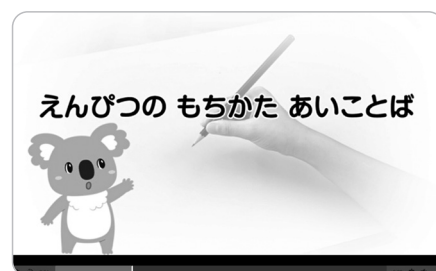
紙面上の二次元コードを通じた、動画や資料などの良質なデジタルコンテンツの活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。(p.5-7)

● タブレット PC 等の活用

発達段階に応じて、タブレット PC 等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

● デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や資料を追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。



今日的な教育課題への対応

● ESD・SDGs への取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

● カリキュラム・マネジメントへの対応

日常生活や学習活動における「生きてはたらく書写力」が育成できるように、「レッツ・トライ」や「かいてつたえあおう」のコーナーを設け、教科横断的に活用できる構成になっています。(p.21、p.24-25、p.40-41)



● 感染症対策、安全・安心への配慮

校内掲示物として「手を洗おう」や、防犯標語の「いかのおすし」ポスターを示すことで注意を促しています。(p.1)

幼児教育との連携、学年間の円滑な接続

- 「たのしく かこう」では、これまで児童がふれてきた身近なものをイメージし、楽しみながら運筆練習ができる構成になっています。(p.8-9)
- 発展教材として「文字の大きさ」をコラムで扱っています。(p.39)

▼ p.8-9



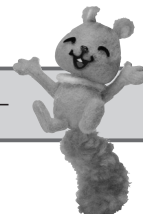
編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号 104-167	学校 小学校	教科 国語科	種目 書写	学年 第1学年
発行者の番号・略称 17 教出	教科書の記号・番号 書写 107	教科書名 しょうがく しょしゃ 一ねん		

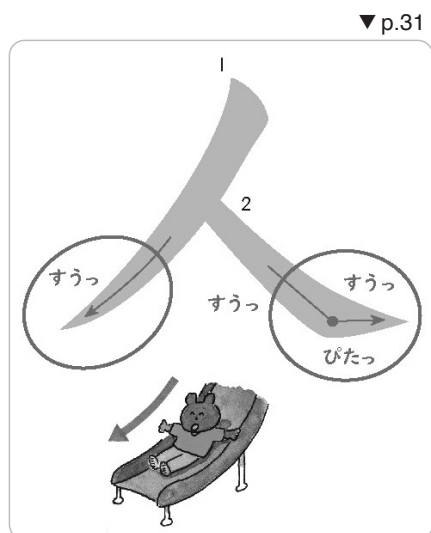
1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色1 「書く力」が身につく —すべての学びを支える—

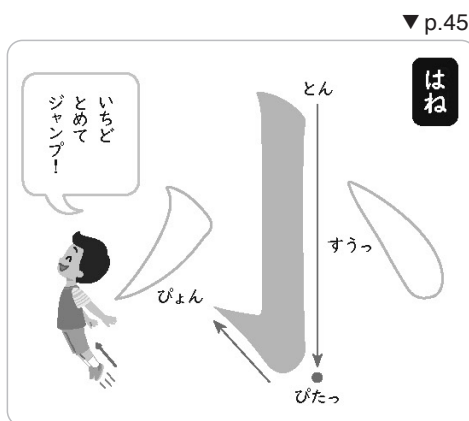


「力の入れ方」がわかると、なめらかに書ける！

運筆を「とん」「すうっ」などの音声で表す、腕を動かして空書きを行う、大きな文字を指でなぞる、運動の様子を表すなど、体感したり想像力にはたらきかけたりしながら、運筆のリズムを体感できるような活動やイラストを提示しています。



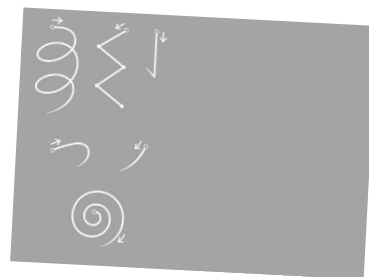
すべり台で「すうっ」と払うなど、子どもにとって身近な動きと音で、運筆を表現しています。



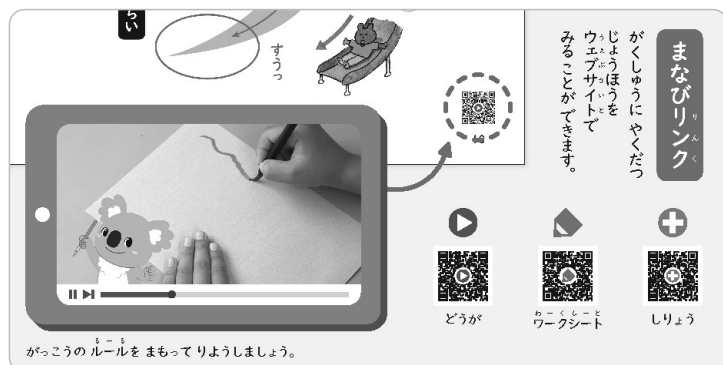
点画の書き方を、「しょしゃのたいそう」で、体を動かしながら身につけます。

巻末▶

水書用紙では、ウォーミングアップとして練習できる線を例示しています。



ハイブリッドな書写学習 —つながる、広がる、「まなびリンク」



教科書教材がまなびリンク(二次元コード)と連動しています。

水書や硬筆の動画を視聴することで、運筆のしかたが理解できます。

◀ p.2



子どもの発達に合った「言葉」を書く

1文字ずつの書き方を習得したら、子どもの発達段階に合った「言葉」として書くことで、書き方を定着させます。

p.12 ▶

かたかなのひょう

◀ p.47-48

イラストによって、言葉のイメージがふくらみます。

国語力の基礎を養う

国語で学習した文学教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。

◀ p.19

対話的な学びを支援

書写で学習した言葉を使って、自分の課題が解決したところを伝え合い、友達の文字の変容を認め合う活動を大切にしています。

▲ p.43

教科書の使い方がわかる

「りんごのマーク」が学習のめあて、「すいしょマーク」は水書で学習するとよいところなど、子どもにとって親しみやすいマークで示しています。



p.2-3 ▶

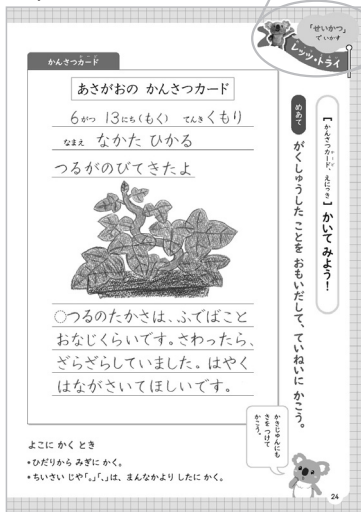
他教科ですぐに使える
「レッツ・トライ」



身につけた書写の力が、学校生活や学習活動の「どの場面で」生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。



▼ p.24



教科関連などを示す
コアラの旗マーク



相手意識をもつことの大切さを知る
「かいて つたえあおう」

学習の最終的なゴールは、目的を考えて書く力を育てること。

巻末には、これまでの書写力を総合的に生かせるような活動を設定しています。



◀ p.40

学年間の確かな系統性 ―硬筆教材一覧表

書写で身につけた力を、どの学習場面でも発揮できるように、各学年の学習活動に即した教材を系統的に構成しています。

学年	カード・はがき	手紙	ノート・原稿用紙 (ます目)	罫線など	学習成果物・学級活動	メモ
1年	ありがとうカード (生活)		お正月のできごと (国語) 横書きの書き方(算数)	かんさつカード(生活) 絵日記(国語)		
2年	年賀状(日常)	ありがとうパーティー の招待状(生活)	お正月のできごと (国語) 横書きの書き方(算数)	時間割(特活) 本の紹介カード(国語)		
3年	暑中見舞いのはがき (日常)	お店見学の礼状 (社会、国語)	セーフティ教室の作文 (国語)	作品カード(図画工作) 横書きの書き方 (国語、理科)	スーパーマーケットの 工夫(社会、国語)	スーパーマーケットで の見学メモ (社会、国語)
4年	敬老の日のはがき (国語、社会、日常)	学習発表会の案内状 (国語、特活)	理科のノート(理科)	横書きの書き方 (国語、理科)	家から出るごみの種類 と量(社会) 学級新聞(特活)	ダム見学での聞き取り メモ(社会)
5年	年賀状(日常、英語) 寒中見舞いのはがき (日常) 絵はがき(日常)	工場見学の礼状 (社会、特活) 転任される先生への礼 状(特活)			SDGsのポスター (特活)	工場見学メモ(社会)
6年	年賀状(日常)	卒業文集執筆の依頼状 (特活) 「卒業を祝う会」の案 内状(特活)		国語のノート(国語)	校外学習のリーフレッ ト(特活) 卒業制作(特活)	話し合いメモ(特活)

検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
① 教育基本法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮しました。 めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。
② 学習指導要領	<ul style="list-style-type: none"> 書写学習をとおして「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を柱として、主体的に学習に取り組み、課題解決を図れるよう編集しています。
2 内容の範囲・分量・程度	
① 教材の範囲・分量	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の教材は、年間30～34単位時間程度で、限られた時数のなかでも、過不足なく学習効果が得られるよう工夫をしています。
② 硬筆教材の内容と程度	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、学習要素が理解しやすい文字や語句を選定しています。
③ 硬筆教材の書風	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の漢字配当表に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正を心がけ、児童にとって書きやすいものとししました。
3 組織・配列	
① 基礎・基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> 文字の書き方の秩序性を習得するために、姿勢・執筆や運筆方法、字形の整え方などの、基礎・基本が確実に習得できるよう構成されています。(p.4-9など全般)
② カリキュラム・マネジメントへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 「レッツ・トライ」「かいて つたえあおう」の教材では、習得した書写力を他教科や日常生活に活用できるように関連を図っています。(p.24-25、p.40-41)
③ 国語科国語との関連	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆教材について、国語で学習した文学教材などから設定し関連を図るとともに、言語としての響きや豊かさを考慮しています。(p.19)
④ 幼小連携・学年間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 「たのしく かこう」では、これまで児童がふれてきた身近なものをイメージし、楽しみながら運筆練習ができる構成になっています(p.8-9)。発展教材として「文字の大きさ」をコラムで扱っています。(p.39)
4 特色・工夫	
① 適切に運筆する能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢を保ち、効率のよい鉛筆や筆の持ち方ができるよう配慮しています。(p.4-7) 水書用紙を活用した学習方法を提示したり、指でなぞり書きできる教材の充実を図ったりしました。
② 主体的に学習に取り組める	<ul style="list-style-type: none"> 学習ステップがわかるアイコンを提示することで、子ども自らが学習手順を理解できるようにしました。
③ 多様な文字文化への関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> 「しりたい文字の せかい」では、字源を扱うことで、文字への興味・関心を高めるようにしました。(p.42)
④ デジタル機器を活用した学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習時に参照できる運筆動画等を、ウェブサイトで見られるようにしています。
⑤ SDGsへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。
5 表記・表現	
① 文章表現・表記・用語	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法が伝わるように、具体的な言葉で示されています。
② 書体	<ul style="list-style-type: none"> 書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。
③ 紙面デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトにしています。
④ カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。
⑤ 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 基本点画の名称と書き方について確認できるページが、全学年に設けられています。(p.45-46)
⑥ 人権上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。
⑦ 左利きの児童への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 左利きで書く場合の持ち方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.6)
⑧ 感染症対策、安全・安心への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 校内掲示物として「手を洗おう」や、防犯標語の「いかのおすし」ポスターを示すことで注意を促しています。(p.1)
6 印刷・造本	
① 印刷・表紙	<ul style="list-style-type: none"> 表紙には、抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。 書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっています。
② 紙・判型	<ul style="list-style-type: none"> 紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙を使用しています。 学習用具が多い教科特性をふまえて、机の場所をとりすぎないB5判サイズにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- (ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。
 (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
 (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所	配当時数
	ア	イ	ウ		
みつけてみよう かいてみよう	○	○	○	表紙裏-p.1	1
きょうかしのつかいかた	○	○	○	p.2-3	適時
1 はじめのがくしゅう ① じをかくしせい	○			p.4-5	1
② えんぴつのもちかた	○			p.6-7	
③ たのしく かこう	○	○		p.8-9	
2 ひらがながくしゅう 1 せんのおわりのかきかた	○	○		p.10-11	1
2 かきじゅん	○	○		p.12	1
3 じをかきはじめる ところ	○	○		p.13	1
4 せんのとちゅうのかきかた	○	○		p.14-15	2
5 にている ひらがな	○	○	○	p.16-17	2
6 ますめのなかのかく ところ	○	○	○	p.18-19	1
7 じのかたち	○	○		p.20	1
レッツ・トライ「よこがきのかきかた」	○	○	○	p.21	適時
8 ひらがなのひょう	○	○	○	p.22-23	1
レッツ・トライ「かいてみよう！」	○	○	○	p.24-25	適時
3 かたかなのがくしゅう 1 かたかなのかきかた	○	○	○	p.26	3
2 じのかたち	○	○		p.27	
3 にている じ	○	○	○	p.28-29	
4 かん字の 学しゅう 1 かくのおわりのかきかた	○	○	○	p.30-31	2
2 かくのとちゅうのかきかた	○	○	○	p.32	2
3 文字のかたち	○	○		p.33	2
4 かきじゅん	○	○	○	p.34-35	2
5 かきぞめ	○	○	○	p.36-37	3
6 かくのながさと ほうこう	○	○	○	p.38-39	2
かいてつたえあおう「ありがとうカードをかこう」	○	○	○	p.40-41	2
学しゅうのまとめ	○	○	○	p.43	2
しりたい文字のせかい「なんのかたちから できた かん字かな」	○	○	○	p.42	1
かん字のひょう 一年生で学しゅうする かん字(80字)	○	○	○	p.44	1
しよしゃのたいそう	○	○	○	p.45-46	適時
かたかなのひょう	○	○	○	p.47-48	
水書用紙	○	○	○	貼り付け	
水しようしのつかいかた/もくじ	○	○	○	p.49	
				計	34

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-167	小学校	国語科	書 写	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 107	しょうがく しょしゃ 一ねん		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
39	文字の 大きさ	1	(イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧を書くこと。 (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。	0.25
合 計				0.25

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容……1
 - ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容……2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。
「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・0.25 ページ以下…0.25 ページ
 - ・0.25 ページを超えて 0.5 ページ以下…0.5 ページ
 - ・0.5 ページを超えて 0.75 ページ以下…0.75 ページ
 - ・0.75 ページを超えて 1 ページ以下…1 ページ
- 7 別紙様式第5-3号の分量は2ページ以内とする。